

第33回子ども神輿巡行

H29.11.3(土)



今年も朝から晴れっていました。

朝8時を過ぎると市民館広場に続々と子ども達が集まってきた。お父さん、お母さんと一緒に子もいます。

大人たちは倉庫から運んだ御輿の鳳凰に稻穂を銜えさせ、しめ縄で飾り付けました。

山車に太鼓を乗せ引綱を付けました。先導車は紅白の幕で覆いました。祭壇に清酒、お米、塩、果物、野菜も供えました。

準備が出来たら神事の始まりです。神職姿の平野さ

んがお祓いし天に向かってウオーと叫ぶと神様のご降臨です。町内会を代表して田村会長他役員が祭壇に玉串を供えると

神が御輿にお乗りになりました。

いよいよ、みんなが待ち望んだ御輿の出発の時です！先導車がお囃子を流し進む後には一対の高張提灯、地ならし棒一対、そして幼児、小学校低学年児童の曳く山車が太鼓を打ちながら、最後は小学校高学年生の担ぐ御輿と続きます。太鼓の音、わっしょい

の掛け声とともに一行は目的地の宮崎第一公園を目指します。道で手を振る子ども、飛び入りで一行に加わる子ども。みんなが祭りの中で一つに融けっています。フロレンス・ケアでは入居のお年寄りが道路前で手を振つて下さいました。最初の休息所は富士通ハイツ駐車場、ここで担ぎ手の交代。子ども達はお菓子の袋を戴き、ジュースの接待を受けました。小休止のあと一行はまた次の休息所、宮崎第二公園に向け出発しました。櫻通り、区役所通りは交通量が多く町会の方々がロープを使つたりして安全に通行できるようにして下さいました。御輿が宮崎一丁目住宅街の坂を上り切るとそこは目的地です。子ども文化会館前庭に置かれた御輿の前で平野さんがお神酒の蓋を閉め一礼して再びウオーと叫ぶと神は天上にお帰りになりました。

祭りの最後は直らいの儀式、神への御供をみんなで頂きました。

参加者は大人、子ども合わせて500人でした。

